

<学校教育目標>

未来を創る知恵と共生する心を持ち、  
主体的に行動する生徒の育成

【重点目標1】

学力向上（学習意欲の向上）をめざして  
授業改善・ICT活用の充実

【重点目標2】

いじめ防止基本方針・長欠不登校減少  
きめ細かな生徒指導・学習支援

【重点目標3】

危機管理を含む学校課題への積極的な対応  
安全・安心な教育環境の整備

【重点目標4】 地域・保護者から信頼される職務実践（丁寧・誠実な職務実践、丁寧な電話対応、保護者対応、来客対応、業者対応）

【重点目標5】 チーム二中 倫理・規律厳守 風通しのよい職場 業務改善（二中PDCAサイクル）

- ・確かな学力の定着
- ・家庭学習習慣の定着を目指す  
学習ドリルを活用した家庭学習
- ・個々に寄り添うTT授業実践の充実
- ・SSTを通して自主学習習慣へ
- ・朝読書から読む力の育成
- ・リモート授業の実践等、学習機会の確保

- ・特別支援教育コーディネーターを軸とした支援体制の連携強化
- ・学習サポートルームの活用の充実
- ・「考え議論する」道徳教育の充実
- ・「特別支援学級」との連携体制の構築
- ・生徒会・委員会活動の充実

- ・「生き甲斐」のある学校づくり
- ・生徒と地域との共生意識の構築
- ・学校教育活動の情報発信
- ・ノー部活デー、ペーパーレス化などの「働き方改革」の推進

- 研修計画の工夫  
例「めあて」明示の統一
- 相互授業参観の活性化
- 校内授業研究会
- 生徒授業評価の実施
- 生徒指導の機能を生かした授業づくり

- 生徒指導部会・教育相談部会を隔週で実施し、情報の共有
- いじめアンケート(毎月)・Q-U調査(年2回)結果の早期対応
- 特別な教科「道徳」年間35時
- 「特別支援学級」開設とインクルーシブ教育システムの構築
- 生徒会・委員会活動の活性化

- 地域の特性を活かした生徒活動の充実
- 長欠生徒への支援及び保護者・SC及び外部機関との連携
- HPを活用した
- 学区小学校との合同研修会
- 市内合同課題設定研修会

【目指す教師像】

- (1) 生徒一人一人の理解を深め、生徒のより良い育成に使命感を持って取り組む教師
- (2) 組織の一員としての自覚を持ちながら学校としての課題の克服に、意欲的に取り組み教師
- (3) 日常の授業を大切にして、主体的に学びに向かう授業を行うために研修を励行する教師
- (4) 教育公務員として責任ある言動の履行を厳守し、説明責任が果たせるサービスを実践する教師

令和8年度 研修テーマ

「ICT機器等を活用した、生徒の実態に合わせた単元デザインと確かな学力の向上を図る授業実践の研究」

「チーム学年制」の研究